SKK

ＭＳ型ＥＣＯ通気口

「安全上のご注意」

本製品の取扱いにつきましては、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■ 取付け・稼動・保守・点検等の前に、必ずこの「安全上のご注意」と本製品の取扱説明書の内容をよく理解したうえで、本製品を正しく安全にお使いください。

■ 本製品は、厳しい品質管理のもとに製造しておりますが、本製品が万一故障することにより人命、身体または財産に重大な損害が予測される場合は、前もってこれを回避するための措置を講じてください。

■ 安全に関する絵表示について
安全に関する内容により、その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解したうえで、本文をお読みください。

警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うほか爆発・火災を起こす可能性が想定される内容を示しています。

注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負うほか爆発・火災を起こす可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
なお、《注意》に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■ 絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）が必要な内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は強制（必ず実行して頂くこと）を示すものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は特定しない一般的な使用者の行為）が描かれています。

昭和機器工業株式会社

⚠ 警　　告	
 垂 直 設 置	**■ 本製品はＧＬ（土間）に対して必ず垂直に設置してください。** 傾いた状態での設置は作動不良などの原因となります。
 設 置 高 さ	**■ 本製品は、法規上、ＧＬ（土間）から４ｍ以上の高さに設置してください。** 引火・爆発などの原因となります。
 禁　　止	**■ 定期点検などで通気管の上部に登る際は、本製品に手を掛けて登らないでください。** 落下事故の原因となります。
 禁　　止	**■ 本製品に衝撃を与えないでください。** 本製品が正常に作動しなくなるおそれがあり、タンク本体の破損などによる液体の漏えいなどの原因となります。
 タンクの耐圧確認	**■ 本製品の作動圧は±５kPa 以内となっています。本製品を通気管に取付けする際は、事前に当該タンクが同圧力に充分耐え得ることを確認した上で取付けしてください。また取付け後においても腐食や老朽化、その他の要因によるタンク強度の低下を考慮して、定期的なタンクの耐圧確認を実施してください。** **なお、本製品の設置に起因もしくは関連する直接的または間接的な損害、その他一切について責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。**
 関係法令の遵守	**■ 危険物を貯蔵または取扱いをする施設に本製品を設置する際は、消防関係法令などに基づいた工事を実施してください。** 引火･爆発やタンク本体の破損などによる液体の漏えいなどの原因となります。
 分 解 禁 止	**■ 本製品は絶対に分解したり、修理･改造は行わないでください。** 引火･爆発やタンク本体の破損などによる液体の漏えい･作動不良などの原因となります。

⚠ 注　　意	
 ストレーナーアダプターの併設	**■ 本製品の設置に際しては、オプションのストレーナーアダプターの併設をお薦めいたします。** 荷卸し時に配管内部から吹き上がってくる錆およびゴミ等が万一、本製品の弁部分に付着するとシール不良となり、機能が正常に作動しなくなるおそれがあります。
 正しい締付け	**■ 本製品を通気管に取付ける際は、通気管各ねじ部にシール材を施した後に、本製品下部の「締付け工具掛かり部」にパイプレンチ等の工具を用いて締付けてください。** 「締付け工具掛かり部」以外の部分にパイプレンチ工具等を掛けて締付けた場合、本製品が正常に作動しなくなるおそれがあり、タンク本体の破損などによる液体の漏えいなどの原因となります。
 シール材の はみ出し禁止	**■ 各ねじ部に施したシール材が、本製品および通気管内に、はみ出さないようにしてください。** 本製品が正常に作動しなくなるおそれがあり、タンク本体の破損などによる液体の漏えいなどの原因となります。
 塗装時における マスキングの実施	**■ 本製品の表面を補修等で再塗装する場合は、本製品内部の防火網や弁体などに塗料が付着しないようにマスキングなどの処置を施した後に塗装を行ってください。また塗装終了後は同マスキングなどを必ず取外してください。** 本製品が正常に作動しなくなるおそれがあり、タンク本体の破損などによる液体の漏えいなどの原因となります。
 内部部品の保護	**■ 本製品内部の防火網や弁体などの内部部品にグリスやオイルまたは塗料やシール材等を塗布しないでください。** 本製品が正常に作動しなくなるおそれがあり、タンク本体の破損などによる液体の漏えいなどの原因となります。
 サイフォン接続	**■ 本製品をサイフォンにて接続されたタンクに取付けすると、それぞれの地下タンク内の液面位に差が生じる場合があります。液面位差を同一にする必要がある場合は最寄りの当社支店･営業所（６ページ参照）へご相談ください。**

⚠ 注　　意	
作 動 点 検	**■ 本製品には、タンク内が所定の負圧または加圧状態に達すると弁が開く吸気弁およびＥＣＯ弁（排気弁）と、万一、吸気弁が作動しなかった場合の安全対策としてセイフティーバルブを設けていますが、設置環境や使用条件ならびに経年変化などによっては、万一の場合、各弁（バルブ）が機能せず、タンク内が負圧または加圧状態となることが想定されます。** **その場合、タンク本体の破損などによる液体の漏えいや計量機の不具合などの原因となりますので、専門技術者による１年に１回以上の定期的な吸気弁およびＥＣＯ弁（排気弁）の作動点検を実施してください。** **万一、異常などが見つかった場合は、最寄りの当社支店・営業所（６ページ参照）へ速やかにご連絡ください。**
消　耗　品	**■ ＥＣＯ弁に装着されているＯリングは消耗品です。** 経年変化などにより摩耗・亀裂・割れ・変形などが発生しますと、シール不良となりＥＣＯ弁が正常に機能しなくなりますので、定期的に行う作動点検の際に併せて点検を行い、異常が確認された場合は必ず新品と取替えを行ってください。 なお、Ｏリングは、同機器専用特殊部品となっておりますので、お取替えの際は必ず当社へご用命ください。
安 全 設 計	**■ 精密機械部品の故障発生とご使用時の装置、システムの製品安全設計のお願い。** 一般的に精密機械部品はある確率で故障が発生します。当社としても精密機械製品の品質、信頼性の向上に努めていますが、その確率をゼロにすることは不可能です。従いまして、当社の精密機械製品のご使用に当たっては、その製品の故障の発生を考慮して、人身事故、火災事故、漏えい事故、社会的な損害などに対する冗長設計、引火・爆発防止設計、延焼対策設計、漏えい事故対策設計、誤作動防止設計などの安全設計をお願いいたします。
本製品の設置	**■ 本製品は関係法令および仕様書に基づいて設置してください。** 引火・爆発やタンク本体の破損などによる液体の漏えい・作動不良などの原因となります。 なお、本製品を屋根やキャノピーの上に設置することは消防法令上禁止されてはおりませんが、新規に設置する場合は原則として避けるように要請されています。また、既設の場合は爆発下限界を超えてベーパーが滞留するおそれがある範囲を確認し、隙間が生じる場合はベーパーが流入しない措置を講じるか、通気口金具の移設が要請されています。詳細は各地区消防へご確認ください。
専門技術者による工　事	**■ 本製品の取付、設置、動作確認および保守点検などの作業については、専門技術者が実施してください。** 引火・爆発やオーバーフロー事故・故障などの原因となります。
産業廃棄物処理	**■ 保守点検などで交換した部品や機器類は産業廃棄物として処理をしてください。** 環境汚染の原因となります。

⚠ 注　　意	
 メンテナンス・コール	**■ 異常を見つけたときは、最寄りの当社支店･営業所へ速やかにご連絡ください。** 本製品に対して異常や不明点など、何かお気付きの際は速やかに、最寄りの当社支店･営業所（６ページ参照）へご連絡ください。
 注　　意	**■ 本製品はガソリン･軽油･灯油･Ａ重油を対象としております。前記以外の他の液種へのご使用につきましては、最寄りの当社支店･営業所へお問い合わせください。なお、前記以外の他の液種へのご使用の場合、本製品は補償の対象外となりますのであらかじめご了承ください。**
 注　　意	**■ 本製品の使用あるいは不具合もしくは関連する直接的または間接的な損害、その他一切について責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。**

サービスネットワーク

お問い合わせは、最寄りの当社各支店・営業所にご連絡いただくか、下記の「SKK ホームページ」をご参照ください。

https://www.showa-kiki.co.jp

2026.9.2 改訂